

中国自然歩道大山滝吊橋

加勢蛇川の遙か上を仰ぐと、地獄谷の急な峡谷に大山滝吊橋がかかっている。もともとかかっていた丸太橋は頻りに流されたため、1977年に橋が建築された。長さ45メートル、幅1メートルの現在の橋は、川床から30メートル上に吊り下げられている。

吊橋を設置するには両崖にコンクリートと鉄の基礎を立てる必要があり、それから細いケーブルが設置された。吊り下げ、固定するための太い支持ケーブルがこのラインに取り付けられた。吊り下げケーブルは鉄製、床部分は軽量アルミニウム合金製である。

鮎返りの滝（Ayugaeri Falls）が橋の真下にあり、側道を少し下って降りていける。鮎は小さな川魚で、春に溪流を遡上し上流で成長、産卵のために海岸水域に帰る。「鮎返り」という名前は、鮎はこの滝から先へは登って行けないと考えられていることに由来する。この小さな滝のすぐ上には、人工堤防でできた小さな水たまりがある。

橋からは地獄谷の壮大な景色を見ることができる。中国自然歩道はここから加勢蛇川が大山滝で谷へと流れ込むさらに上流へと続いている。

注意：対面から橋を渡る人がいれば、その人が完全に渡りきるまで橋を渡り始めないこと。